

# 広報たかなべ

2014. 11. 21 NO. 391

- ・第14回 高鍋城灯籠まつり
- ・特集 秋だ！温泉だ！「めいりんの湯」に行こう
- ・平成25年度 高鍋町決算状況
- ・宝くじの助成金で整備されました
- ・災害に強いまちづくりをめざして
- ・「ゾーン30」が設定されました
- ・「町民の日」記念式典・高鍋町社会福祉大会
- ・乗って残そう！公共交通！
- ・《姉妹都市交流》「鷹山塾」に参加
- ・大好きな高鍋町の風景
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物



第14回 高鍋城灯籠まつり会場（舞鶴公園）

## 甲冑武者、威風堂々と

今年の灯籠まつりでは、高鍋高等学校の生徒が、自らデザインした創作灯籠の設置を行いました。また、灯籠点灯式では、甲冑を身にまとった勇壮な武者姿を披露したり、儀式にのっとり火打ち石で火起こしを行うなど会場を大いに盛り上げてくれました。





# 第十四回

# 高鍋城灯籠まつり

十月十八日、第十四回高鍋城灯籠まつりが行われ、約一万七千人の来場者でにぎわいました。  
 このまつりは、高鍋藩の名君である秋月種茂公が創設した明倫堂の教え「人の倫」を育む心  
 「精神文化」に明かりを灯し、受け継ぎ、伝えていくことを目的としたまつりです。  
 今年は、台風十九号の影響で開催日を二週間延期し、日程も二日から一日だけと規模を縮小し  
 て行われました。しかし、当日は創作灯籠や紙灯籠など約一万基の灯籠が幻想的な光で会場を包  
 み込み、多くの来場者を魅了しました。



TAKANABE CASTLE LANTERN FESTIVAL 2014







高鍋城灯籠まつりは、実行委員会メンバーをはじめ、多くのボランティアの皆さんによって支えられ、開催されています。その皆さんに心から感謝しながら、活動の軌跡を写真で紹介します。



来年もどうぞ  
よろしくお願ひします





— 特集 —

秋だ！温泉だ！

「めいりんの湯」に行こう

秋も深まり肌寒くなり、あたたかいモノが恋しい季節となりました。そんなときに思い浮かぶのは、立ち上る湯けむりに包まれた「温泉」です。

寒い時期に入る温泉は、格別な心地良さがあり、冷えた体を芯から温め、心と体を癒してくれます。

今回の特集では、高鍋温泉「めいりんの湯」の魅力をご皆さんに紹介します。

温泉のパワー

忙しい毎日、ストレス解消のため、そして癒しとくつろぎを求めて温泉に行く方は多いのではないのでしょうか。また、癒しを求めただけでなく、温泉の効能を知り、病気やケガを治すために利用しているという方もいると思います。

温泉は、お湯につかると体が温まることで心身の緊張がほぐれ、血行がよくなり、日常生活によるストレスや疲労で弱った自律神経系・内分泌系・免疫系が回復すると言われています。

温泉には、いろいろな成分が含まれているため、その種類によって効

能や肌触りが違ってくるのですが、共通して保温・保湿が高いことから、自宅のお風呂では得ることのできない効果があります。

「めいりんの湯」の魅力

高鍋温泉「めいりんの湯」は、平成十三年に開業し、今年で十三年目を迎えました。

周辺には、貴重な動植物の宝庫である「高鍋湿原」や昭和初期の農村風景が残る「四季彩のむら」があり、豊かな自然に囲まれています。

施設内には、内湯風呂、露天風呂、サウナがあり、好みに合ったお風呂でくつろぐことができます。

泉質は、ナトリウム・塩化物泉

で、この泉質は、体が温まりやすく、湯冷めしにくいことが特徴です。そのため、冷え症に対する効能が高く、血行を良くする働きが強いと言われています。また、痛みをよわらげる効能があり、神経痛や関節痛、筋肉痛、疲労回復などに効果があります。このほか、塩分の殺菌効果により、切り傷ややけど、慢性皮膚病の改善があり、肌にやさしい泉質は「美人の湯」としても親しまれています。

日常の忙しさを忘れ、高鍋の自然に囲まれながら、のんびりゆっくりお湯につかって、身も心もリフレッシュしてみたいかですか。

めいりんの湯おすすめ情報



高鍋温泉めいりんの湯  
スタッフ  
齊藤 妙子 さん

「めいりんの湯」では、利用者の皆さんに楽しんでいただけるように「日替わり湯」をしています。ブルーベリー湯やローズマリー湯、しょうが湯やゆず湯などがあり、近日常には赤ワイン湯と緑茶湯が登場しますので、ぜひお楽しみいただければと思います。

また、一日中温泉を楽しめる「再入浴スタンプ」は、館内滞在中、何度でも入浴可能なので、温泉を十分満喫していただくことができます。

「地産地消」をテーマに地元生産者から毎日届く新鮮な野菜などを展示販売している萬菜館では、「土日限定野菜詰め放題」を実施中です。週替わりで旬の野菜を数種類、二百円で詰め放題。来場者の皆さんに大変喜んでいただいております。

このほか、県内外の方からも好評な温泉水を使った保湿化粧水「ねりクリ」は、肌荒れが気になるこの季節にはぴったりの商品です。ぜひご利用ください。



べたつかず、さわやかな使い心地が好評の「ねりクリ」

## 「めいりんの湯」は 私たちにとって 生活の一部です

成岡 栄一 さん  
ちよ さん



夫婦で温泉が大好きで、県内外を問わず色々な温泉に行っています。そんな私たち夫婦にとって毎週3・4回通うめいりんの湯は、温泉の拠点であり、生活の一部となっています。

めいりんの湯の泉質のおかげで、肉体疲労や腰痛も緩和されています。また、ゆっくりつかることでリラックスできるので、精神的にもリフレッシュすることができます。温泉の効果なのか二人ともこれといった病気もなく、病院とも縁のない生活が送れています。

これからも夫婦仲良く、めいりんの湯に通いたいです。

## 美容と健康のために 「めいりんの湯」は 欠かせません

谷山 時美 さん



ほぼ毎日、めいりんの湯を利用しています。

温泉では、まずサウナに入ってからたくさん汗を出してからお風呂に入ります。汗で体中の毒素や老廃物を出すため、美容効果はもちろん、体調もいいですね。

美容と健康のために通っていたのですが、同じようにめいりんの湯に通う人たちと仲良くなって、今では、一緒に旅行に行ったり、忘年会をするなど「めいりんの湯友達」もたくさんできました。

ストレス解消とリラックスのために、めいりんの湯は私にとって欠かすことのできない場所です。

## ランニングの疲労回復には「めいりんの湯」が最高!

松木 祐樹 さん



月1回ほど、日々のランニングで疲労が溜まると、めいりんの湯を利用しています。

温泉につかると、疲れが取れるだけでなく、数日間体調も良くなります。もちろん温泉の効果もあると思いますが、60畳の広い無料休憩室でリラックスして柔軟体操ができることも要因の一つだと思います。

めいりんの湯周辺の「四季彩のむら」は、とても良いランニングコースなので、ランニング仲間と一緒に走って、温泉に入って疲れを取って、風呂上がりのソフトクリームを楽しんでいます。

## 家族それぞれ 違う楽しみがあります

小寺 陽一 さん

妻：由紀 さん  
長女：彩音ちゃん  
次女：美桜ちゃん



毎月2・3回、めいりんの湯を利用しています。

私は疲労回復とリラックス効果を求めて温泉に行くのですが、子どもたちは、家庭のお風呂では味わえない広い内湯風呂や開放的な露天風呂がお気に入りです。「今度はいつ温泉に行くの?」とすぐに聞いてきます。風呂上がりに飲む牛乳も、子どもたちの楽しみの一つです。妻は「温泉に入ると、化粧水が肌の奥まで浸透する」と美肌効果を楽しんでいるようです。

家族それぞれ楽しみ方は違いますが、ゆっくり、リラックスできるめいりんの湯がみんな大好きです。

## 後期高齢者「無料保養券」のお知らせ

健康福祉課では、後期高齢者を対象に「めいりんの湯」無料保養券(6枚綴り)を交付しています。

今年度、まだ取りに来られていない方は、ぜひ健康福祉課の窓口までお越しください。(保険証と印鑑を必ず持参してください)

※めいりんの湯にお越しの際は、運転を気にせず、のんびり、ゆっくりできる巡回バスをご利用ください♪



「めいりんの湯」は、地下一七〇メートルからくみ上げた、源泉かけ流しの豊かなお湯で、利用者の皆さんに満足いただいております。施設内では、うどんやそばなどが食べられる軽食処や弁当の販売も行っています。また、予約弁当の注文も承っており、予約特典として、貸切部屋を二時間無料で利用することが出来ます。このほかにも、利用者



高鍋温泉めいりんの湯 施設管理責任者

岩切 信之 さん

「めいりんの湯」にぜひお越しください

【取材を終えて】  
近くに温泉があるということは、とても恵まれた環境です。しかし、児湯地区には温泉が多いため、その貴重さを感じることが少ないのではないかと感じました。近年、利用者の減少で、経営状況が厳しくなっています。利用者を守ることは、温泉を守ることにつながります。このため、多くの町民を守るために、ぜひ利用してほしいです。

の皆さんに喜んでいただけるようなさまざまな「お得情報」がありますので、ぜひ職員にお尋ねください。  
「めいりんの湯」は、泉質や湯量以外にも、ほかの温泉にはない魅力がたくさん詰まっています。これから寒くなる季節、ぜひ心と体を休める場所としてご利用いただければと思います。  
利用者の皆さんに親しんでいただける温泉をつくっていくには、「利用者の声」が大変参考になります。改善点やアドバイスなどありましたら、ぜひ職員にお知らせください。  
これからも皆さんに喜んでいただける温泉になるように、職員一同、業務に励みたいと思います。



# 高鍋町の決算状況を報告します

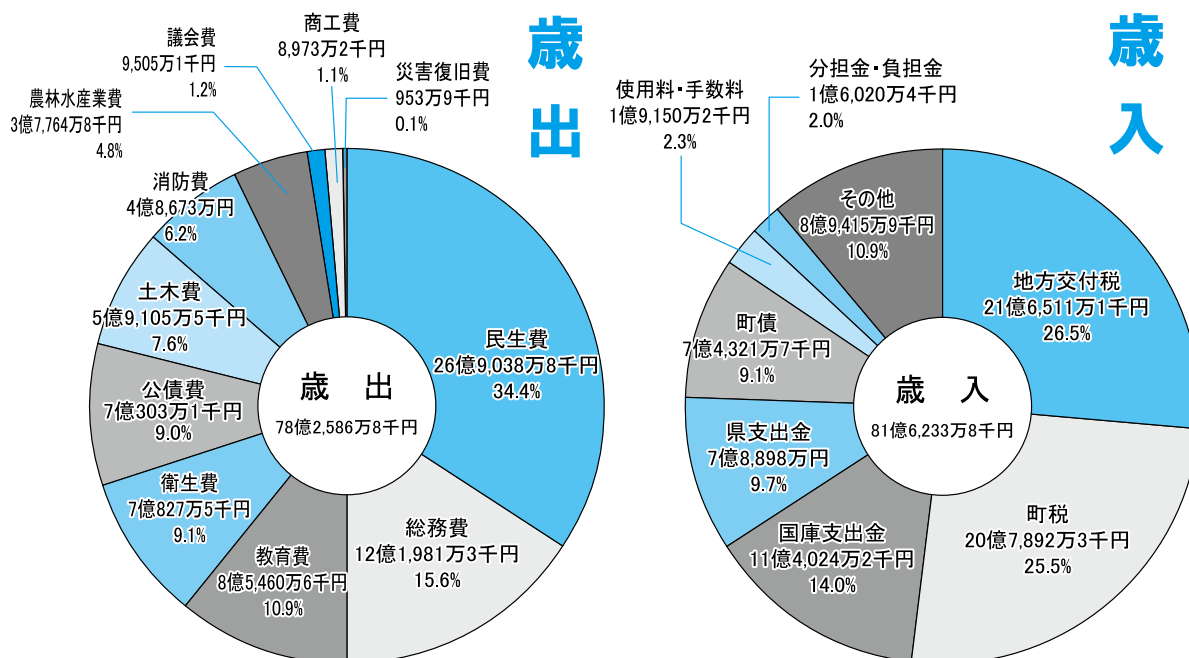
町民の皆さんが納めた税金や、国・県からの交付金などは、どのような形で、どのような目的に使われているのか。町の財政状況を広く知らせるために、毎年、決算を公表しています。

平成25年度一般会計の決算額は、歳入総額81億6,233万8千円、歳出総額78億2,586万8千円となりました。

歳入面では、地方交付税は約3,500万円の増額、町税は町民税の減額の影響もあり、約1,000万円の減となりました。国庫支出金は防災行政無線放送施設整備事業費補助金が約1億3,500万円、地域の元気臨時交付金約1億1,800万円増額となり、約2億6,000万円の増となりました。また、県支出金も介護基盤緊急整備事業補助金1億1,600万円や、埋却地再生整備事業委託金が約3,600万円の増額となり、約1億6,800万円の増となりました。繰越金や繰入金の減額もありましたが、全体では5億9,693万6千円の増となりました。

歳出面では、民生費は扶助費の増額傾向に伴い約1億4,800万円の増となり、前年度と同様に歳出の3分の1以上を占めることとなりました。教育費は国の補正予算や緊急防災減災事業債などを活用したことから、学校施設、社会体育施設の整備事業により約1億9,000万円の増額となり、全体では6億6,532万円の増となりました。公債費は平成20年度のピーク時から減少を続けていましたが、平成25年度は約321万円の増となりました。

実質収支は昨年度から8,531万4千円減少し、2億7,195万2千円となりました。税収の減少が続くなか、公共施設の老朽化や災害対策に係る財政需要が今後もさらに見込まれるため、これからも引き続き徹底した歳入の確保、歳出の抑制を図り、計画的なまちづくりに取り組んでいく必要があります。



◎公債費

一般会計地方債残高 (平成25年度末現在)	68億3,224万8千円
--------------------------	--------------

◎水道事業

区分	歳入	歳出
収益的収支	4億3,470万4千円	4億70万5千円
資本的収支	4,000万円	3億2,744万円

◎特別会計

区分	歳入	歳出
国民健康保険	31億6,943万7千円	29億5,993万5千円
後期高齢者医療	4億4,291万8千円	4億4,176万5千円
下水道事業	3億5,236万円	3億4,440万3千円
介護認定審査会	1,136万7千円	996万7千円
介護保険	15億8,028万1千円	15億1,478万円
一ツ瀬川雑用水管理事業	2,216万7千円	1,738万9千円

# 財政健全化法に基づく高鍋町の 「健全化判断比率等」について公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は、毎年度四つの健全化判断比率（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）および資金不足比率を算定し、議会への報告、公表することが義務づけられています。

これらの指標が悪化し、早期健全化基準、財政再生基準を上回ると、財政的に危険な水準にあると判断され、議会の議決を経て財政の健全化もしくは再生のための計画等を策定し、外部監査を求めることなどが義務づけられています。



## ■高鍋町の算定結果は？

平成25年度決算に基づき、算定した健全化判断比率および資金不足比率は、いずれの指標も早期健全化基準、財政再生基準を下回る結果となりました。地方交付税が一定の水準を保っていることや基金の増額、地方債償還額の減少もあり、比率は改善傾向にあります。

### 1. 健全化判断比率

指標	比率(24年度)	比率(25年度)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	—	20.0%	30.0%
実質公債費比率	12.5%	11.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	34.7%	20.4%	350.0%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がないため「—（該当なし）」で表示しています。

### 2. 公営企業の資金不足比率

公営企業会計の名称	比率	経営健全化基準
水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	

※いずれの会計も資金不足がないため「—（該当なし）」で表示しています。



整備された備品の一部

#### ◆中鶴自治公民館◆

（一般コミュニティ助成事業）

- ・ポータブルワイヤレスアンプ
- ・ワイヤレスマイク
- ・パワーアンプ
- ・55V型テレビ
- ・ラックシアター
- ・カラオケ液晶モニター ほか



整備された備品の一部

#### ◆黒谷自主防災組織◆

（地域防災組織育成助成事業）

- ・ガス炊飯器
- ・メガホン
- ・無線機
- ・避難はしご
- ・チェーンソー
- ・折りたたみ式アルミリヤカー
- ・油圧ジャッキ
- ・難熱性毛布 ほか

コミュニティ助成事業は、コミュニティの健全な発展を図るため、財団法人自治総合センターが宝くじの収入を財源として行っています。高鍋町では、平成二十六年に次の備品が整備され、地域コミュニティ活動に活用されています。

宝くじの助成金で  
整備されました